

家庭菜園

Q & A
問題解決!



南部営農センター
園芸課
検校 哲也

Q1 冬になると、観葉植物の葉が黄色くなったりが、元気がなくなるんですが、なにがいけないんでしょう？

A1 十一月になると最低気温が7℃になる日が出てきます(愛西アメダス)。

パキラやフィカス(ゴムの木)など、冬になると7℃以上、ドラセナ、モンステラなどは10℃以上で管理します。寒くなる前に、室内へ移動させます。植物が新しい環境に慣れるのには2週間ほどかかりますので、早めがいいでしょう。



外に置き忘れたフィカス。下葉が変色して元気がなくなっています。



枯れかけて、あわてて室内へ入れたパキラ



寒さで傷んだドラセナ

木などは7℃以上、ドラセナ、モンステラなどは10℃以上で管理します。寒くなる前に、室内へ移動させます。植物が新しい環境に慣れるのには2週間ほどかかりますので、早めがいいでしょう。

しむ植物は12℃以上、室内の特に暖かい場所で育てます。日当たりのいい所へ置きたくありませんが、窓際は冷えます。昼間は暖かくとも夜は10℃を切ることもあります。冬越しに失敗するもう一つの理由は水やりです。水やりのタイミングは土の中まで乾いたとき。冬、植物は水を欲しがりません。生長は鈍って休眠するものもあります。暖かい日中に、鉢底から流れ出るまで水をたっぷり与えます。鉢皿の水は捨てます。土が湿りつ

ばなしにならないようにして根腐れを防ぎます。暖房のかかった部屋は乾燥するものです。葉水で湿度を保ちましょう。霧吹きで葉の表と裏に水をかけ湿らせます。ハダニやカイガラムシは冬でも発生します。これらの害虫を防ぐにも効果的です。残念ながら傷んでしまった場合、古い葉を取り除きます。その場合、無理に摘んだり切ったりして傷つけることのないよう、完全に葉柄まで枯れてから除去します。来年、暖かくなったら新しい葉が出て育つでしょう。なお、肥料は要りません。

オンライン農業塾はこちら
動画はコチラ

管内の病害虫情報はコチラ

家庭菜園情報はコチラ



葉の模様がみごとなカラテア



熱帯の雰囲気の魅力のカラジウム